

「もしも」に対応 護身術実技演習

警視庁犯罪被害者支援室の協力を得た「性犯罪被害者」に巻き込まれないための「護身術」が、12月4日に行われた。神田キャンパスでは3回目の開催。

参加した法学部の学生18人は、もしも自分が、あるいは身近な人が性犯罪などの被害に遭った場合、どう対応すればいいのか、被害に遭わないためにはどう自分で身を守ればいいのか、など、性犯罪対策に関する実践的な講義を受けた。

続いて、身を守るために役立つ護身術の基本を練習。襲われそうになったら「大声を出す」「護身術で相手を振り払い、とにかく走って逃げる」などポイントを聞き、2人ペアとなって実技を学んだ。



警視庁犯罪被害者支援室・警察官の指導で

学生部主催2講座

保健室「やにけん」体験

内科校医による保健室の大敵タバコ! 「いつ止める? 今でしょ!!」について考える。くお肌」が12月2日に行われ

た。神田キャンパスでは昨年度から健康支援活動の一環として講演会を開催している。参加した法学部の学生28人は、講演を聴いた後「やにけん」を吸う人も吸わない人も、日ごろ受動喫煙が気になっている人も、一度試してみませんか。

神田キャンパス

「やにけん」とは、唾液中の喫煙による体内の残留タールを調べる検査で、試験紙に唾液をつけて1分で結果が出る。検査は神田保健室でいつでも受けられる。



講演を聴く学生たち

「無難な色選びから戦術的な色選びへ」を副題としたワークショップを開催。自分に似合う色の選び方に加え、正しい姿勢や発声を練習する。

▽日時 1月28日(火) 10時30分～16時30分
会場 専修大学生田サテライトキャンパス 講師 大貫いつき氏(カラリス、日本色彩学会会員)ほか
参加費無料 ※申し込み締め切りは1月20日(月)。申し込み用紙に必要事項を記入の上、学生相談室にお持ちください。



恩師の喜寿祝う 6年ぶり松原会

名誉教授の松原成美ゼミOB会である「松原会」が11月17日、東京品川区のホテルニューオータニイン東京で開催された。6年ぶりの開催。出席者68人は、喜寿を迎えた松原名誉教授を祝福。仲間たちとの久しぶりの再会を喜び、学生時代に思いを馳せ、絆を確かめ合った。

(関係・平13院商修) 叙勲受賞者

外国語のススメ LL研究室

ドイツ語 寺尾 格 経済学部教授

「略字符」というものがあります。英語では apostrophe と言い、「略字符」とも訳されます。can not を短縮するときに、n と t の間に書く「'」のことで、母音を省略する際の記号として用いられますね。韻律を整えるための詩の表現とか、あるいは俗語などの場合に、しばしばお目にかかるようです。例えば「ごきげんいかがですか?」をドイツ語では「ヴィー・ゲート・エス? (Wie geht es?)」と言います。英語ならば現在進行形 How is it going? というのに等しいでしょう。

もちろんエス (es = it) が形式的な主語であることは言うまでもなく、従って es の e を省略して短く言う場合が普通で、「ヴィー・ゲ



ツ? (Wie geht's?)」となります。会話の入門レベルの練習で、必ず出てくるド基本表現なのですが、実はこの省略記号を省略するドイツ人が非常に多く、そのためかどうか、新正書法では「省略記号は書いても書かなくても良い」というドイツ人らしからざる(?) アバウトな対応になったようです。

外国語の習得に際しても、実は文字よりも「音声」の方が、はるかに重要なのですが、どうしても「文字」にとらわれてしまう学生が多いようです。あいまいな「音声」は、四角四面の「規則」よりも、はるかにフレキシブルな世界です。「間違っているけど、通じる!」というような、おおらかな気持ちが外国語学習では大切ではないでしょうか。(LL研究室長) ※全文はLL研究室ホームページで

アドニス66号刊行

校友会誌「アドニス66号」が1月15日に発行されました。主な内容は▽「新春TOP座談会」日本の未来は「知」が拓く。(日高義博理事長、矢野建一学長、甘竹秀雄校友会会長)▽われら専修人特

漫画研究同好会

光陰矢の如し

0' chobo (文2)



校友会からのお知らせ

▽1月20日18時開会▽東京メトロ四谷三丁目駅徒歩一分東京ガス「四谷クラブ」園成瀬利明043・276・1868

▽2月1日18時東京メトロ田原町駅徒歩6分

坂井さんが寄付

評議員の坂井寿恵さん(昭23専政)が12月4日、神田キャンパスを来訪、教育研究振興協力資金(昭44専)を寄付された。



教育研究振興協力資金募金のお願い

専修大学は、1880年(明治13年)の創立以来、多くの方々を支えられて今日に至っております。現在、「学生を基本に据えた大学づくり」を念頭に置き、人間性豊かな倫理観のある人材の育成を目指し、骨太の大学改革に取り組んでおります。創立140年、そして150年に向けてさらなる躍進を続けるために、皆様方の支援、ご協力を賜りますことを切にお願い申し上げます。

専修大学募金局 ☎03・3265・3157

※詳しくはホームページをご覧ください。ネットバンクを使ったホームページからの振り込みと、コンビニエンスストアからの振り込みが可能です。

大学院とキャンパス・ハラスメント

専修大学は、キャンパス・ハラスメント対策室を設置し、専修大学における学生及び教職員によるキャンパス・ハラスメント対策、すなわち、その防止のための啓蒙活動、並びに、相談及び措置を行っている。

①各人の性格や個性の違いを理解すること、お互いの人格を尊重し合うこと②すべての構成員は、お互いが大切なパートナーであるという意識を持つこと③学部の演習科目、大学院及び専修学上、あるいは職業大学院などにおいては、学生及び教職員の距離が近いこともあり、力の自覚し、常に相手を意識し、常に相手の配慮を保つこと④指導する立場にある者は、キャンパス・ハラスメントの点により配慮すべきである。

これからの配慮は、専修大学に属する者以外の人々にも向け、た全ての局面に当てはまるものであるが、とりわけ、少人数教育が行われる学部の演習科目、大学院及び専修学上、あるいは職業大学院などにおいては、学生及び教職員の距離が近いこともあり、力の自覚し、常に相手を意識し、常に相手の配慮を保つこと④指導する立場にある者は、キャンパス・ハラスメントの点により配慮すべきである。

対策室員・滝沢誠